

実は、この質問。

毎回、セミナーのときに、私は質問しますが、半分以上の方が答えられないんです。

正解はBです。

必ずプローブマーク方向に出ます。

腹部セミナーの時に「ビームってなに？」

と聞いて、ウルトラセブンの格好をされた方がいました。

とてもユニークな方でした。

でも、私は微笑みながら首を横に振り、ウルトラマンの「スペシウム光線」の格好をして見せました。



そうです。「面」です。「線」でも「立体」でもありません。  
感覚的にはCTと同じ。

腹部エコーはウルトラマンのビームなんです。

心エコーはウルトラセブンのビームなんです。

自分の手にCTが付いていると思うのです。

次ページのような「定規：じょうぎ」が出ていると思ってください。

その「定規」が画面そのものなのです。

共通のポーズです。



左側の写真を見てください。患者さんにもたれていますよね。  
患者さんにもたれると「重たい」と感じた患者さんはおそらく「仕返し」してきます。  
患者さんと、あなたが「もたれあう」ようにしてバランスをとっている姿をよく見かけます。  
もたれてきた患者さんを「支えよう」とするあなたは、おそらく左足で患者さんとあなたの体重を支えないといけなくなるはずで  
必ずあなたの左の腰を痛めます。

確かに、もたれあう形になる場面もありますが、必要最低限にしてください。  
あなたの体を守るためです。

それに、文字を書くときに、こんなに体を斜めにして文字を書きますか？  
必ず、「まっすぐに」（右の写真）座るはずで

そして、「頭の向き」  
見事に殆どの方が、首を右に傾けています。（左の写真）  
当然画像も、頭の向きにあわせて「斜め向き」になっています。

この頭の向きを直すだけで、急に上手くなる人も居るくらいです。

しつこいくらい言います。

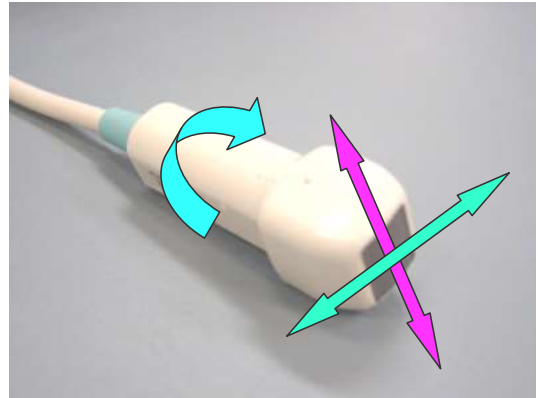
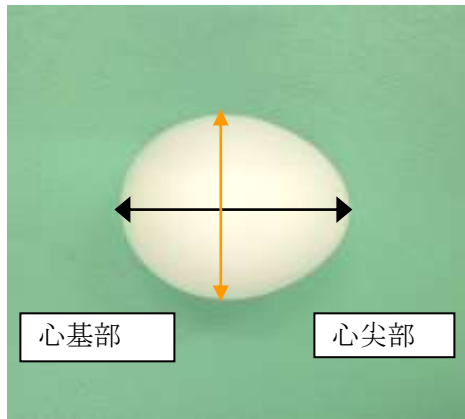
「気合い」を抜いてください。

下の写真の右側の写真を見てください。

回転（青色矢印の動き）

プローブマーク方向（赤色矢印の動き）：振り子走査

プローブマークがっていない方向（緑色矢印の動き）：扇状走査



まず、回転（青矢印）の微調整です。

回転を使って、長軸方向の向きを調べます。



上の写真のように斜めに切れている場合、当然断面は短くなってしまいます。